

謹賀新年



群馬パース同窓会報 2016.1 №18

団体名／群馬パース同窓会 役員／会長：小野 章夫 副会長：金谷 泉・井口 智・田子 利法 書記：荻野 拓也・赤池 優
名誉顧問／学長：栗田 昌裕 会計：設楽 達則・及川 洋・高橋 美咲 庶務：武江 陽平・栗田 潤・千葉 俊大
監査：青柳 直樹・木村 史志

新たなる未来にむかって

看護学科 卒業生の皆さんへ

群馬パース大学 教授

早川 有子先生



看護学科卒業生の皆さんお元気ですか。時々本学の卒業生が各施設でご活躍していることを耳にし、嬉しく、誇らしく思っているこの頃です。

現在、看護学科の卒業生は短大卒業生より1000名を超えました。数年経過し卒業生の皆様がどの施設で活躍しているかが把握できなくなってきました。そこで、「就職先と現住所」

に関するお願いのメッセージを書かせて頂きました。これは今後の学生が就職先を決める際の参考にしたり、同窓会報を直接お届けしたいと考えるからです。

そして半年前、大学卒業生の看護学科1期生から7期生の卒業生の代表者に大学に集まって頂き、一緒に住所録作成や情報を共有していくことになりました。名簿につきましては代表者が中心になり作成に取り組んできましたが、まだまだ就職先と現住所を把握することができない卒業生が数多くいます。そのため卒業生全員で協力して頂き名簿が完成することを願っています。

皆様ぜひ名簿作成にご協力をお願い致します。

同窓生数も1742名となり、さらに平成28年度では検査技術学科の1期生が卒業をむかえ群馬パース同窓会も更なる飛躍が期待されます。そこで、同窓会の情報整理を含め以下の大学看護学科同窓生対象に各学年の幹事同窓生が現住所や勤務先などの調査を行っています。理学療法学科では定期的に情報収集をしており、短大看護学科卒業生への調査も始めていく予定です。同窓生の皆さんにはお手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

大学学年幹事代表者(看護学科)

1期	折茂 雄太 ・ 神尾 優哉 ・ 中川 慶展 ・ 村田 唯
2期	田村 唯 ・ 中島 宏野 ・ 広瀬 文乃 ・ 田村 美穂
3期	細谷 勇輔 ・ 水野 祐嘉 ・ 小林佐登史 ・ 中島 正和
4期	武江 陽平 ・ 岸 秀幸 ・ 松下 裕之
5期	富澤 智樹 ・ 高橋 秀徳
6期	袴田 理紗 ・ 櫻井 紘規
7期	伊能 拓哉 ・ 田邊 貴博 ・ 古澤 諭

平成27年度 同窓会総会開催しました！



平成27年6月27日（土）、群馬パース大学にて総勢87名の方にご参加いただき、同窓会総会を開催することができました。

その後の講演会ではジャーナリストの渡部陽一氏をお迎えして「戦場の医療現場から」という題目でご講演いただき好評でした。短大1期生から今年3月卒業したばかりの大学7期生まで幅広い年代の同窓生が集まり和やかな一日となりました。



第18回流星祭へ 参加しました！

今年で3回目のコーヒーショップ出店となりますが、当日は天候にも恵まれ暖かくアイスカフェオレの売れ行きが好調でした！

また売上金17,300円を学友会へ寄付させて頂きました。在学生とのふれあいの場として、今後も活動を続けていきたいので同窓生の皆さんも奮ってご参加くださいね！





今年度より群馬パース大学に着任されました検査技術学科教授荒木先生による、不妊治療分野で活躍するエンブリオロジストのための講演会及び実演会を行いました。次回日程は未定ですが、不妊治療分野などに興味を持たれている方は講演会を聴講してみてもいかがでしょうか！

『第1回エンブリオロジストのための着床前スクリーニング (PGS) / 着床前診断 (PGD) を学ぶ会』を開催

2015年9月5日(土)・6日(日) 於：群馬パース大学2号館



検査技術学科 教授
荒木 康久 先生

これまでARTの分野においてエンブリオロジストの果たしてきた役割は大きく、ラボ業務に貢献していることは疑う余地がありません。今後も、エンブリオロジストはその役を担っていくことは申すまでもありません。

最近の国外学会では、着床前スクリーニング (PGS; pre-implantation genetic screening) / 着床前診断 (PGD; pre-implantation genetic diagnosis) に関する話題が多くなっています。一方、国内の学会においては、このことに関する発表例は少なく、この分野において日本は大きく遅れを取っている感があります。勿論、社会的コンセンサスを無視することはできませんが、このままでは世界の流れに乗り遅れていくと思われます。

最近、日本産科婦人科学会によるPGSの有効性に関する臨床試験が開始されると報道されています。PGSを実際に臨床導入しないまでも、エンブリオロジストがPGS/PGDの現状を学べる機会の必要性を強く感じております。

そこで、PGS/PGDの基礎と臨床に関する知識を整理するために、講演会、実演会を企画致しました。今後もこのような取り組みを行っていきたいと考えます。次回開催は未定ですが、興味のある方は講演会だけでも奮ってご参加ください。



独立行政法人 地域医療機能推進機構 群馬中央病院 勤務

吉田 真似香

(看護学科 2014 年度卒)



私が在学中もっとも思い出に残っていることは、三年次の臨床実習です。実習では病態生理の理解や患者さんにもっとも必要な看護を考えるなどとても大変でした。しかし、この実習を乗り越えられたのは、実習グループのメンバーとの支えがあったからだと思っています。実習中はメンバー同士でお互いに悩みや疑問を相談したり、励まし合いました。メンバーと協力し合ったことで、よりよい看護を患者さんに提供することができたのではないかと思います。私は実習を通して看護について学ぶだけでなく、チームの団結力や協力体制の大切さも学ぶことができとても良い思い出となっています。

私は現在整形外科の看護師として働いています。とても大変な日々ですが、そのような辛い毎日の中でも様々な場面で看護のやりがいや楽しさを感じています。入院時の患者さんは症状や手術に対して大きな不安を抱いていますが、退院時笑顔で退院される患者さんの姿を見るととても看護にやりがいを感じます。

まだ入職して間もなく、現在は毎日自分の業務をすることに精一杯であり、患者さんを第一に考えた看護を実践できていないと思います。今後の目標として、看護技術や知識を身につけるだけでなく、コミュニケーション技術も身につけていきたいです。多くの不安を抱える患者さんの心理面にもしっかりと着目し、患者さんに対してもっとも必要な看護を日々考えていきたいです。また在学中に学んだ多くのことを生かして理想の看護師像に向けて日々努力していきたいです。

医療法人 樹心会

角田病院 勤務

荒木 海人

(理学療法学科 2010 年度卒)



私は現在、理学療法士として群馬県玉村町にある角田病院で勤務しており、群馬パース大学大学院にも在籍しています。

臨床に出てからあっという間に4年目になり、回復期リハビリテーション病棟のリーダーを任せていただけるようになりました。当院のリハビリテーション課は若い年代が多く、私も新人教育に携わらせていただいています。業務面や技術面だけでなく、回復期リハビリテーション病棟で働くことのやりがいや楽しさをどのように伝えていくかということに日々悩みながら新人教育に当たっています。人と人の関わりのため、上手くいかないことも多々あります。そんなときは尊敬している先輩の、「言葉じゃなく行動で示せ。お前の仕事を見て後輩たちが真似したい、そうなりたいと思えたら自然と育ってくる」という言葉を思い出します。後輩指導だけでなく、自分の働きぶりを思い返す良い刺激にもなります。

また、「4年目」という節目は私にとって大きなことのように感じます。大学生活での「4年目」は、臨床実習や国家試験、同級生や後輩たちとの思い出作りに全力を注ぎました。今は、臨床業務と大学院での研究の両立で大変ではありますが、日々奮闘しています。

次に迎える「4年目」ではどんなことに挑戦できているのか。できるだけ大きな目標を掲げられるよう、常に前向きに努力していきたいです。

医療法人 済恵会 須藤病院 勤務

上原 卓也

(理学療法学科 2011 年度卒)



「時に過去をふりかえることも大切だぞ」
在学中に国家試験勉強でなかなか成績が伸びずに悩んでいたとき、先生にかけていただいた言葉です。今まで勉強してきた何がわからなかったのか、そこをわかるまで調べる。そして人に説明できるようになる。私は正直あまり勉強が得意ではありませんでしたが、自分の弱点を知るのが一番の武器になります。苦手なことはできれば避けたいと思いますが、なぜ自分が理学療法士・看護師・臨床検査技師になりたかったのか思えば必ず乗り切れるはずで

私が現在勤めている病院では回復期病棟に属しており、脳梗塞や骨折、外傷などで負傷した患者さんに対して日常生活動作の改善を目的とし365日リハビリを行っています。担当させていただいた患者さんが元気になり笑顔で退院していく姿はとてうれしいですし、とてもやりがいのある仕事だと感じると同時に、評価・治療ひとつで大きく今後の生活にかかわってくるのだと責任感もあります。

私の病院の基本理念に「ともに喜び、ともに楽しみ、時にはともに悲しみ、しかしまた元気を取り戻し、皆様と一緒に充実した人生を歩んでいくことです。」とあります。リハビリを行えば良くなる人もいれば、悪性腫瘍や神経難病などの影響で現状を維持するのが精一杯という患者さんもいます。理学療法士として予後が悪い患者さんに対しても最良の治療・対応を提供できることが今後求められます。これからも今に満足することなく技術・知識を身につけていけたらと思います。



群馬パース大学大学院



8期生募集のご案内

入試日程

試験日 (C日程)

平成28年 2月13日 (土)

保健科学研究科
保健科学専攻 (修士課程)

- *看護学領域
- *理学療法学領域
- *病因・病態検査学領域

- 昼夜開講制なので、働きながら学べる
- 経済的な理由により修学困難な方を対象に、入学金100,000円を免除
- 長期履修制度あり



M+S Medical+Safran

医療職の無料就職相談サポート

卒業生すべての皆さまの
再就職・転職をご支援いたします。
まずは、お気軽にご相談ください。



メディカルサフランからのお知らせ

この度、メディカルサフランでは群馬パース同窓会の運営をサポートさせて頂くことになりました。これまで以上に情報を発信し、同窓生の皆様に喜んで頂けるような企画などを考え、同窓会の発展に貢献してまいります。同窓生の皆様どうぞ宜しくお願い致します。

☎ 027-381-6002 (8:30-18:00)

🚗 高崎市問屋町西 1-7-2 アーバンK・F103

✉ info@medical-safran.com

メディカルサフラン

検索



同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、

1. 会員の住所管理
2. 同窓会報の作成・発行
3. 同窓会ホームページの管理
4. 総会、懇親会の運営
等の業務を行っています。

これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。

1. 住所・氏名・職場に変更があった方
2. 同窓会報に寄稿したい方
3. 支部会を組織したい方

連絡窓口

〒370-0007 高崎市問屋町西 1-7-2
アーバンK・F103
メディカルサフラン
TEL: 027-381-6002
FAX: 027-388-0909
E-mail: alumni@paz.ac.jp